

令和6年12月2日

甲斐市議会議長 秋山照雄 殿

公明党会派長 金丸 幸司
加藤 敬徳

会派視察研修報告書

下記日程、内容にて会派視察研修を実施したことを報告いたします。

日時 令和6年11月12日(火)

参加者 公明党 金丸幸司、加藤敬徳

研修先 横須賀市役所

研修内容

「エンディングプラン・サポート事業」

これからの時代、単身世帯が増えてゆき、その中の約半数が65歳以上の高齢者が占める社会がやってくる中、身元が分かっているのに引き取り手が無い遺骨が増えている。引き取り手のない遺骨は、墓地埋葬法でその人の亡くなった場所の自治体が自治体の費用で火葬・埋葬しなければならない。その費用は自治体によっては数億円にも及ぶ。横須賀市では、身寄りがなく所得や資産の少ない独居者の亡くなった後の葬儀や納骨を、本人と葬儀社との契約を支援し、その契約が履行されたか未届けを行う。

「わたしの終活登録事業」

2003年、携帯電話の契約者数が固定電話の契約者数を上回った頃から、身寄りの者への連絡が取りづらくなり、引き取り手が無い遺骨が増える要因になったと考えられるという。そこで元気なうちに終活情報を市に登録する事業、「わたしの終活登録事業」を始めた。これは所得年齢に関係なく緊急連絡先、支援・身元保証事業者、エンディングノートの保管場所など終活に必要な情報を市に登録し、緊急時に病院や警察、福祉事務所などからの問い合わせに対し回答をする、というもの。

この二つの事業は令和6年度から厚生労働省のモデル事業に指定された。本市に於いても今後、安心して老後を過ごすためにこのような事業は必ず必要となるので、よく研究して行きたい。

研修の様子

